

議会のすその



トヨタ自動車株式会社が発表した「Woven City」の完成予想図

令和2年1月15日決議文の抜粋

2020年は市制施行50周年の節目を迎え、東京2020オリンピック自転車競技男子ロードレースの開催都市という重要な年となります。

加えて次世代技術の実証都市プロジェクトが公表され、裾野市がそのフィールドとなりました。

この絶好のチャンスを活かし、市議会は、裾野市の明るい未来の実現に全力で取り組んでまいります。

主な内容

令和2年度予算審査
みんなの声
13人が一般質問で市政を問う

題字制作

裾野高校 3年
加藤悠人さん

3月定例会 No.139

令和2年6月1日

発行：裾野市議会

行財政構造改革 集中取組期間2年目の 事業はどうなったか？



行財政構造改革

- 平成30年度当初より取り組んでいる、市の歳出・歳入の構造を見直す改革。
- 令和2年度は3カ年の集中取組期間の2年目となる。
- 新規事業は原則見合わせ、緊急性・優先度を見極める。
- 既存事業は、財政規模から身の丈にあった規模・内容となるよう見直す。
- 歳入・歳出ともに改革を着実に推進する。

主要事業財源 前年度比較表

(単位：千円)

年度	事業数	事業総額	国費	県費	借金	その他	一般財源
令和2年度	主要61事業	3,324,611	726,918	140,395	1,179,400	619,264	658,634
令和元年度	主要62事業	3,695,607	489,601	150,871	1,400,100	374,733	1,280,302
前年比(差)	△1事業	90.0%	148.5%	93.1%	84.2%	165.3%	51.4%



須山御師公園イメージ図

既存事業見直しの上で推進する御師公園



市営墓地

既存事業の見直し

問 予算編成で、新規事業を原則廃止し、複数事業を見直し、事業の優先度・将来性を見極めたい。裾野市の持続的発展のための予算編成を行ったということだが、既存事業の見直しについて、優先度・将来性をどう見極められたのか。

答 行財政構造改革の取り組みの中で、すべての事業をゼロベースで見直すことを基本とし、効果的な施策展開を図るため、事業の統合や役割を終えた事業の見直し、市民の安全・安心に向けた事業、将来的な施策展開を見据え、事業の必要性を担当部署で検討を行った。その結果をもとに市長・副市長ヒアリングを実施し最終的に決定している。

今年度の墓地事業

問 定期監査報告では、墓地事業特別会計で、超高齢社会到来による新たな墓地需要への対応や、起債償還を含めた今後の管理運営方法の分析、検証を早急に実施し、事業の在り方を検討したいとある。令和2年度の予算で、販売につなげるための事業費が計上されていないが、墓地事業に対する取り組みを伺う。

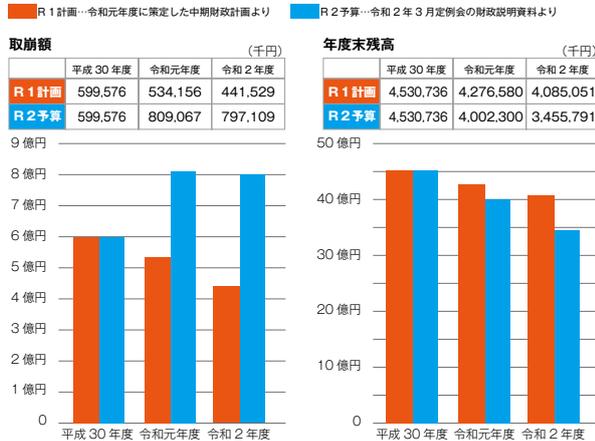
答 令和2年度には4号墓域以降の区割り整備工事は予定しておらず、通常の墓地管理業務を行う。今後、墓地使用の要望があった際は、既に販売した墓地の返却分の再販売や、希望者に対し将来的に4号墓域の整備を行った場合の仮予約を行う。

当初予算への 質 疑

令和2年度は 主要61事業 (新規事業16・継続事業45)



財政調整基金 令和元年度計画と令和2年予算編成の差異



財政調整基金の取り崩し

問 令和2年度当初予算案で、財政調整基金の取崩額は7億9,710万9千円であり、前年度に比べ1億4,480万6千円、22.2%の増となっている。中期財政計画^(※1)では、4億4,152万9千円とされている。令和2年度の取崩額について、どのような評価・認識をされているか。

答 令和2年度の予算編成では、歳入歳出とも中期財政計画との乖離があり、財政調整基金の取崩額は見込より増額となった。市税収入が減額となる中、行財政構造改革で事業の見直しを行い、必要な事業に歳出を確保し、裾野市の持続的発展に向けた予算編成をする上で必要な財政調整基金の繰り入れと考えている。令和2年度の予算執行は、財政規律と健全性の維持に努めていく。

目指す姿：豊かな自然と調和する次世代型近未来都市
スズノ・デジタル・クリエイティブ・シティ



演習場対策室の統合

問 演習場を抱える自治体の市民にとって、市役所の中に「演習場対策室」として専門窓口があるのは、心強く生活の安心・安全に繋がる。また最近の情勢として、一昨年6月頃より、米軍輸送機オスプレイが裾野市市街地上空に飛来するようになり、事故の恐れや爆音などで市民に大きな不安を与えている。自衛隊機からの迫撃砲落下事件も起きた。そのような中で演習場対策室を農林振興課に統合する理由は何か。

答 演習場対策室と農林振興課の統合は人事の硬直化、業務の平準化などの観点からであり、業務の効率化・事務の円滑化を図っていく。演習場対策専門官は継続して配置する。

クリエイティブ・マインド^(※2)

問 施政方針における重点取り組みを実施するにあたり、市民や企業の皆さんに「クリエイティブ・マインド」を求めているが、裾野市の執行体制における「クリエイティブ・マインド」の具体的な状況を伺う。

答 クリエイティブ・マインドはどの時代でも常に求められるもの。執行体制を支えている若い年代の職員は常に新しい感性と創造力を持ち、市政の発展・住民サービスの向上のために日々努力をしている。この度の「オープン・シティ」の発表を受け、前例のない、新しい社会に向けた新しいまちづくりのため施策展開を進めるためには、現状から更に一歩先を見据え、より積極的・創造的になることが求められるものであり、今まで以上のクリエイティブ・マインドが求められるものと考えている。

(※1) 中期財政計画とは…健全な財政運営のため、今後の景気動向や税制改正、事業実施計画などを考慮した今後5年間の収支見通し。
(※2) クリエイティブ・マインドとは…想像力を使って今までの世界にないことを生み出そうとする考え方や心の状態。

総務分科会

予算配分と財政調整基金(財政課)

問 各部局への予算配分の考え方は。また、財政調整基金が中期財政計画と比較して6億円ほど下振れしており、その差を令和2年度の予算執行状況を確認し調整していくとのことだが具体的取り組みは。

答 各部局からの要求事業の確認と令和元年度の予算配分を基準に編成した。また、財政調整基金積立額は、入札時に発生する差金などで確保したいと考えている。その差金は財政課で管理する予定であり、年度末に調整し基金に積み立てていく。

職員満足度の向上(人事課)

問 職員満足度の向上に向けた取り組みは。また、研修予算が減額傾向だが、職員の質の向上に影響はないか。

答 研修受講者のアンケート結果の検討や公募型の研修を実施するなど職員のニーズに配慮した取り組みを予定している。また、職員自ら研修講師を務めるなど、研修の充実を図っている。

ICT(※3)の推進(みらい政策課)

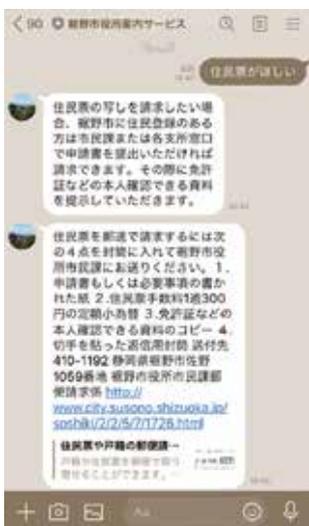
問 予算が5万円と少額だが、十分な推進ができる状況なのか。

答 データ利活用など予算を伴わずともできる仕組みを進めていく。

LINEで市民課窓口案内
を実証実験中です。▶



◀お友達登録はこちらから



ふるさと納税(戦略広報課)

問 ふるさと納税に対する新たな取り組みの検討は。

答 返礼品の対象品目の拡大を図るほか、寄附者の拡大を狙い新たなポータルサイト(※4)も検討したいと考えている。

ふるさと納税返礼品



裾野市人気ナンバー1の返礼品は「完熟いちご」です。

県テレビ会議設備の導入(危機管理課)

問 県テレビ会議設備の導入は裾野市だけの実施か。また、どのように運用する予定か。

答 県主導で県下全域を対象としているが、導入時期などは各市町の状況に合わせて進められる。災害時の活用を主に導入を考えており、設置場所や運用方法は今後検討する。平常時の利用や導入済みの市町間との情報交換も可能であることから、運用方法は状況をみながら決めていく。

新廃棄物処理施設整備基本構想 (生活環境課)

問 基本構想策定委託は、4年前に一度策定しているが、再度200万円かけて見直すこととなった経緯は。

答 大きな投資を伴う事業であり慎重に進めている。余熱利用など補助金の要件や環境が変わっているため見直しを行う。

(※3) ICTとは…「Information and Communication Technology」の略で「情報通信技術」のこと。

(※4) ポータルサイトとは…インターネット上にある様々なページの玄関口となる巨大なウェブサイトのこと。

細かくチェック！



資金運用(出納課)

問 基金などの運用に対する取り組みの検討は。また、繰り替え運用(※5)に対する取り組みについてどのように考えているか。

答 基金運用について出納課で素案を取りまとめ、財政課と協議しながら大口定期などの運用を進めていく。また、繰り替え運用の改善には、各課の毎月の支出見込に基づく資金計画と実績との差を少なくしていくことが必要であり、精度を高めるなど努力していく。

4号墓域・5号墓域の整備

(生活環境課)

問 一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない事業となっているが、どのように考えているか。また、現時点で完売し残区画がない状況で仮予約を受け付けているとのことであるが、4号墓域、5号墓域の整備を進めるための議論や試算は行ったのか。

答 墓地を販売しない限り繰入金を抑制できない。4号墓域、5号墓域の整備は議論しており、工事期間や整備費用も試算してある。仮予約者にも販売時期を示すことができず、早い段階で整備が可能となるよう環境を整えていきたい。

市営墓地4・5号墓域



整備が期待される4・5号墓域

……厚生文教分科会……

ヘルシーパーク裾野管理運営委託

(健康推進課)

問 料金改定に伴う利用料は、指定管理料へ反映したのものとなっているのか。

答 現段階では、入場者の増減が見込めず確定できないことから、反映できていない。

ヘルシーパーク裾野



営業再開が待たれるヘルシーパーク

学校給食センター民間委託事業

(教育総務課)

問 給食センターの調理業務を民間委託する予定だが、委託後の会計年度任用職員への影響は。また、近隣で調理委託を行っている市町は。

答 受託者の決定後に職員が受託者に雇用されることもあり、その結果、変動が生じる。近隣では、長泉町、清水町、沼津市、三島市の一部、伊豆の国市、富士宮市で委託している。

しずおか寺子屋創出事業

(学校教育課)

問 学力向上を目指す事業において、学習支援員の確保についての考えは。また令和2年度はどこまで行う予定なのか。

答 現在行っている学力向上ボランティア事業の場合は、1年間の活動が可能なボランティアを募集していたが、寺子屋創出事業では短期も可とし、教師OBや大学生、高校生、中学生など幅広く考えている。令和2年度では、学力向上ボランティアを継続しつつ、地域の方を増やすことを目指していく。

(※5) 繰り替え運用とは…財政上特に必要があると認められる場合、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用すること。

安全運転支援装置設置促進事業 (社会福祉課)

- 問** 助成金の対象範囲は。
- 答** 設置費の7割補助で
上限3万円とする。
70歳以上で自身が運転す
る自己用車両に対して補
助が行われる。



装置設置補助の開始は、
8月を予定しています。▶

手話奉仕員養成講座(障がい福祉課)

- 問** 負担金から委託に変わった理由は。また、修了者に対するフォローは。
- 答** 従来は近隣の市町と共同開催をしていたが、市民の利便性向上により参加者の増加が見込まれるため、市独自に行うこととした。講座は入門編と初級編を予定し、修了者には県が開催する手話通訳者の講座を案内している。

産業建設分科会

橋梁長寿命化事業(建設管理課)

- 問** 市境の新愛鷹橋(長泉町境)、新西川橋(御殿場市境)の橋梁長寿命化における設計費と補修費の両自治体の負担割合は。
- 答** 両自治体間で協定を締結している。費用負担割合は2分の1である。

通学路整備事業(建設課)

- 問** 対象となる道路は。
- 答** 合同点検の結果をもとに実施箇所を決定している。一般市道も行っている。

駅西土地区画整理事業の桃園平松線(区画整理課)

- 問** 桃園平松線の開通は、事業進捗を示す事業として重要である。早期開通を目指せないか。
- 答** 桃園平松線の早期開通の重要性は認識している。令和3年度の開通を予定している。

深良まちづくり構想(まちづくり課)

- 問** 地元で作成している深良まちづくり構想の内容は。
- 答** 深良地区を6つに分類し、うち1つのゾーンを新市街地整備ゾーンとして定めている。令和2年度は事業化に向け、一歩進めようと考えている。

須山御師公園(まちづくり課)

- 問** 基本方針策定はどのように進めていくか。
- 答** 地元の思いを大事に、関係団体と連携を図りながら進めていきたい。

ため池ハザードマップ(農林振興課)

- 問** 作成の対象となる箇所は。また、成果物の公表と安全対策についての考えは。
- 答** 市が管理する金沢堤と蜘蛛が池の2ヶ所が対象。ハザードマップとして公表するが、調査結果を基に令和3年度以降に対応を考えていく。



蜘蛛が池

公文名の水田を潤す蜘蛛が池

細かくチェック！



三世代同居支援補助金(産業振興課)

問 令和2年度に制度の見直しを行うとのことだが、変更点と目的は。

答 変更点は、新築または取得した住宅で500m以内の新居を認めることと、商工会会員以外の事業者でも可能とした点。目的は、三世代同居を増やすことで子育てや介護などの家族の支え合い、地域経済の活性化、空き家の利活用の促進に資するため。

スポーツツーリズム推進事業

(産業振興課)

問 スポーツツーリズム推進事業交付金の内容は。

答 スポーツツーリズム推進協議会へ交付するもので、内容は、準高地トレーニングの合宿誘致に取り組むための営業経費やチームの支援の経費など。



演習場対策(農林振興課)

問 令和元年度、演習中の誤落下事故が発生した件で、防止対策の強化は。

答 再発防止の申し入れはすでに行っているが、使用協定の改定の際に、安全対策の強化を防衛省にさらに強く働きかけをしていく。

簡易水道事業会計の健全化

(上下水道経営課)

問 経営戦略の策定が計画されているが、総係費(委託料)が給水収益(水道料金)を上回る状況で、どのような経営戦略を策定するのか。

答 経営戦略は水道事業と同様に、健全経営に向けた資金計画を念頭に置いた戦略を策定していく。

問 水道事業との統合がなされなければ健全化が図れないのではないか。

答 水道事業との統合についても、今後検討が必要な課題として認識している。

第3号議案(一般会計予算) 附帯決議(※6)

裾野市三世代同居支援事業は、「住宅建設等促進事業」における加算要件として、「三世代同居支援」を実現し、市内中小企業・小規模企業の事業活動の支援を最大限実現できる施策となるよう、速やかに見直すこと。

第8号議案(墓地事業特別会計予算) 附帯決議

特別会計である以上、事業により収支を合わせることが当然であり、事業収入を増額させるための担保が必要である。令和2年度中において4号・5号墓域の整備に関する予算を計上し、執行できるよう努力すること。

(※6) 附帯決議とは…議案を議決する際に付け加えられる意見あるいは要望のこと。

3億5,400万円の増額

補正予算

総務分科会

財政調整基金などの基金残高

(財政課)

問 財政調整基金と学校教育施設整備基金の補正後の残高は。

答 財政調整基金の残高は、40億230万円、学校教育施設整備基金の残高は、5億2,695万1,000円を見込んでいる。

消防団員退職報償金(危機管理課)

問 消防団員の退職に伴う報償金の財源に雑入があるが何が充てられているか。

答 掛け金を負担している、消防団員等公務災害補償等共済基金からの収入が財源となっている。



市民の生命と財産を守る消防団

厚生文教分科会

十里木キャンプ場(生涯学習課)

問 十里木キャンプ場内の建物などの売り払い収入で、売り払い額の算出はどのように行ったか。また、契約で原状復帰して土地を返却することを謳っていたが、今回の変更はどのように担保をとっているか。

答 売り払い額は不動産鑑定によるもの。また、返却条件の変更など書面でやり取りを行っている。

富岡第二小学校屋内運動場危険改築事業(教育総務課)

問 繰り越しの理由が鉄骨の納期が遅延とのことだが、工事期間の変動に費用は発生するのか。

答 追加の費用は発生しない。

富岡第二小学校屋内運動場



7月完成予定です。

ヘルシーパーク浄化槽改修

(健康推進課)

問 水中エアミキサーの復旧工事で、停止期間や故障による影響は。早期に直すための対応は。

答 令和元年11月から停止しているが、浄化槽として機能している。製作期間が3ヶ月ほどかかるため毎年実施している定期検査(令和2年6月)を目処に進めている。

プレミアム付商品券の申請状況

(社会福祉課)

問 プレミアム付商品券の委託料減額の要因は。また予定申請数に対する結果の分析は

答 非課税者の申請が少なかったのが要因。対象者6,654人に対し、1,771人からの申請にとどまり、申請する意思がなかったと分析している。



その他議案のチェック!

国民健康保険 特別会計補正予算 (国保年金課)

問 特定健診の手数料が減となっているが、受診者減少の要因は。また現状の受診率は。

答 対象者の減。なお、受診率は微増している。現状は46%程度の受診率である。

産業建設分科会

東名高速道路橋梁維持事業 (建設管理課)

問 これまで東名跨道橋の補修工事は、高速道路会社に委託し実施していたが、入札の不調が多いため、今年度からは高速道路会社が工事受託をしないとのことだが、市の対応は。

答 令和3年度に瀬戸山Ⅱ橋の補修工事を予定しているため、市単独での工事発注ができるように、技術的な体制構築や関係機関との協議を実施していく。



オリンピックロードレース沿線 森林整備補助金(農林振興課)

問 オリンピック自転車ロードレース沿線の森林整備費補助金の減額は、眺望確保の他の事業に流用できなかったか。

答 現地調査では富士山の眺望が確認できる状態で

あったため減額とした。補助金の使途は県の指定のため流用できない。

三世代同居支援補助金(産業振興課)

問 減額の補正だが、事業の申請件数は何件であったか。また、どのようなPRを行ったか。

答 当初10件の申請を見込んだが、現状は申請2件、相談2件である。新聞報道提供、広報すその、金融機関へPRした。

十里木高原簡易水道特別会計 水道管理の委託料減額 (上下水道経営課)

問 減額理由である委託内容の精査は何を行ったか。

答 委託内容を見直し、内部でできる作業は内部で実施したことにより減額できた。

水道事業会計 県補助金事業 (上下水道経営課)

問 地震・津波対策等減災交付金の事業詳細は。

答 発電機、無線機6台、防災倉庫を整備した。



地震・津波対策等減災交付金で整備されました。

その他議案のチェック!

その他の議案

職員のサービスの宣誓に関する 条例の一部改正(人事課)

問 会計年度任用職員が実施するサービスの宣誓の別段の定めとはどのようなものを想定しているか。また、条例では宣誓しなければ職務遂行できないこととなっているが、宣誓の時期をどのように考えているか。

答 任命権者に署名した宣誓書を提出させるなどの方法を想定しており、宣誓書に対する決裁をもって職務させるなどの方法や時期を考えている。

宣誓書

私はここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを固く誓います。

私は地方自治の本旨を体するとともに公務を民主的、かつ、能率的に運営すべき責務を深く自覚し全体の奉仕者として誠実、かつ、公正に職務を執行することを固く誓います。

国民健康保険税条例の一部改正 (国保年金課)

問 国保運営協議会の答申内容は今回の改正案に入っているか。また、均等割が26,000円に上がっているがどのような議論があったか。

答 答申を受けて改正するもので、県の標準保険料率を参考に協議を行った。

市営住宅条例の一部改正 (まちづくり課)

問 連帯保証人の要件で規定する親族は、何親等までを想定しているか。

答 2親等までを考えている。

御宿土地区画整理事業区域内の 建築物等の制限に関する条例の 制定(まちづくり課)

問 別棟の車庫、物置など延べ面積が20平方メートル未満の構造物は壁面位置の制限が除外されているが、良好な環境が維持できるか。

答 制限の除外については、他地区の地区計画に準拠している。



工場等の緑地面積の条件緩和 (産業振興課)

問 改正により緑地面積の条件が緩和されるが、P Rの方法は。

答 すでに問い合わせのある企業には改正案が上程されていることを説明しており、今後、市内外に向けてのP Rを強化していく。

■新旧対照

《現行》平成24年9月3日施行

第一種区域 住宅・商業地域 (準則設定無し)		第二種区域 準工業地域		第三種区域 工業・工業専用 地域		第四種区域 その他、 用途指定無	
緑 20%	環境 25%	緑 15%	環境 20%	緑 10%	環境 15%	緑 20%	環境 25%

《新》令和2年4月1日改正

第一種区域 住宅・商業地域 ※変更なし(設定無)		第二種区域 準工業地域 ※変更あり		第三種区域 工業・工業専用地域 ※変更あり		第四種区域 その他、用途指定無 ※新規追加	
緑 20%	環境 25%	緑 10%	環境 15%	緑 5%	環境 10%	緑 5%	環境 10%

令和2年第1回臨時議会(令和2年1月15日)



議案番号	議案の内容	結果
第1号議案	条例制定) 裾野市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定 再生可能エネルギー発電事業(太陽光発電・風力発電)に関して、必要な事項を定め、地域社会の発展と地球温暖化対策の推進に寄与する目的で条例を制定するもの。	原案可決
第2号議案	令和元年度裾野市一般会計補正予算(第5回) 8,500万円を追加し、予算総額を214億8,500万円とするもので、台風19号で被災した農地の災害復旧と、追加される国の交付金で都市計画道路平松深良線の整備を促進する。	
議員提出議案 第1号	裾野市の明るい未来の実現に向けた取り組みに関する決議 2020年は、市制施行50周年の節目を迎え、東京2020オリンピック自転車競技男子ロードレースの開催都市という重要な年となる。加えて、次世代技術の実証都市プロジェクトが公表され、裾野市がそのフィールドとして選ばれた。この与えられた絶好のチャンスを活かし、市議会は、裾野市の明るい未来の実現に全力で取り組むことを強く決意する。	

3月定例会の審議議案と結果



全会一致の議案

議案番号	議案の内容	結果
第4号議案	令和2年度裾野市国民健康保険特別会計予算 予算総額は、44億7,000万円で、令和元年度比7,000万円の減額。	原案可決
第5号議案	令和2年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算 予算総額は、5億8,500万円で、令和元年度比3,600万円の増額。	
第6号議案	令和2年度裾野市介護保険特別会計予算 予算総額は、34億3,000万円で、令和元年度比2,800万円の増額。	
第7号議案	令和2年度裾野市土地取得特別会計予算 予算総額は、50万円で、令和元年度比33万円の増額。	
第8号議案	令和2年度裾野市墓地事業特別会計予算 予算総額は、4,670万円で、令和元年度比260万円の減額。	
第9号議案	令和2年度裾野市水道事業会計予算 収益的収入を9億8,100万円、収益的支出を7億3,200万円、資本的収入を2,700万円、資本的支出を7億1,500万円と定めるもの。	
第11号議案	令和2年度裾野市簡易水道事業会計予算 収益的収入及び支出を6,169万8,000円、資本的収入を937万7,000円、資本的支出を1,324万6,000円と定めるもの。	同意
第12号議案	監査委員の選任 令和2年3月31日に任期満了となる監査委員の齊藤武男氏を引き続き選任するもの。	
第13号議案	条例制定) 裾野都市計画御宿地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の制定 御宿土地区画整理事業の区域内において、建築物の容積率、建ぺい率や建築物の高さの限度などを定め、健全で合理的な土地利用を推進し、住宅を中心とする良好な市街地環境やまち並みを形成するため条例を制定するもの。	原案可決
第14号議案	条例改正) 裾野市部設置条例の一部改正 簡易水道事業に地方公営企業法の規定を適用することに伴い、環境市民部所管の十里木高原簡易水道事業事務を水道事業に移管するもの。	
第15号議案	条例改正) 裾野市民健康づくり推進協議会設置条例の一部改正 協議会委員の任期を、「2年」から「諮問に係る答申が終了するまで」とするもの。	
第16号議案	条例改正) 裾野市水道事業審議会条例の一部改正 現行の「水道事業審議会」と「下水道審議会」を統合し、「上下水道事業審議会」とするもの。	
第17号議案	条例改正) 裾野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、法律名称の変更と関係する条文の整理を行うもの。	
第18号議案	条例改正) 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の一部改正 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条文の整理を行うもの。	
第19号議案	条例改正) 裾野市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正 会計年度任用職員の任用形態や手続きが様々であることから、服務の宣誓をそれぞれにふさわしい方法で行うことができるよう改めるもの。	

議案番号	議案の内容	結果
第21号議案	条例改正) 裾野市手数料条例の一部改正 建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令の一部改正に伴うもの。	原案可決
第22号議案	条例改正) 裾野市特別会計条例の一部改正 簡易水道特別会計を公営企業会計に移行するため、特別会計条例から削除するもの。	
第23号議案	条例改正) 裾野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 放課後児童室支援員の資格取得にかかる経過措置期間「令和2年3月31日」を「令和3年3月31日」に1年間延長するもの。	
第24号議案	条例改正) 裾野市介護保険条例の一部改正 厚生労働省の通知に基づき、刑事施設に収容されている者に対する介護保険料の減免を規定するもの。	
第25号議案	条例改正) 裾野市営住宅条例の一部改正 民法等の一部改正を動案し、入居に係る連帯保証人の条件等の規定を改めるもの。	
第26号議案	条例改正) 裾野市工場立地法に基づく準則条例の一部改正 企業立地・立地企業の事業拡大等の促進を図るため、一定規模の面積を有する製造業などの工場敷地内の緑地面積と環境施設面積の基準を緩和するもの。	
第27号議案	条例改正) 裾野市十里木高原簡易水道供給条例の全部改正 簡易水道事業に地方公営企業法の規定を適用するため、条例の名称変更と必要な規定を整備するもの。	
第28号議案	条例改正) 裾野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 簡易水道事業を公営企業とするもの。	
第29号議案	市道路線の認定 御宿土地区画整理事業により施工される道路9路線について、幅員、延長など認定を行うもの。	
第30号議案	建設工事請負変更契約の締結(令和元年度 東富士演習場周辺民生安定施設(体育館)設置助成事業 裾野市下和田区・呼子区 地区体育館整備工事) 地盤改良の追加、地中埋設物の撤去、切り直し追加のため、契約金額298万4,300円を増額し、変更後の契約金額を3億988万4,300円とするもの。	
第31号議案	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 静岡県市町総合事務組合の構成団体である「浅羽地域漏水防除施設組合」が脱退するため、組合規約の一部を変更するもの。	
第32号議案	令和元年度裾野市一般会計補正予算(第6回) 3億5,400万円を追加し、予算総額を218億3,900万円とするもので、主な内容は、決算見込みによる所要額の補正と、国の補助金を活用した深良小学校、富岡第一小学校の耐震補強・大規模改修工事を前倒しする増額、ふるさと納税寄附金の増額による財源振り替えなど。	
第33号議案	令和元年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算(第4回) 決算見込みによるもので、1億3,701万5,000円を追加し予算総額を50億4,445万8,000円とするもの。	
第34号議案	令和元年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3回) 決算見込みによるもので、167万4,000円を追加し予算総額を5億5,469万2,000円とするもの。	
第35号議案	令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算(第4回) 決算見込みによるもので、521万4,000円を減額し予算総額を34億7,889万円とするもの。	
第36号議案	令和元年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計補正予算(第1回) 決算見込みによるもので、1,830万円を減額し予算総額を6,043万円とするもの。	
第37号議案	令和元年度裾野市墓地事業特別会計補正予算(第1回) 申し込み区画数の増により、一般会計からの繰入金を減額するもので、33万8,000円を減額し予算総額を4,896万2,000円とするもの。	
第38号議案	令和元年度裾野市水道事業会計補正予算(第3回) 決算見込みにより、収益的支出を168万2,000円減額、資本的収入を245万6,000円増額、資本的支出を4,248万3,000円減額するもの。	
第39号議案	令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算(第3回) 決算見込みによるもので、収益的収入、収益的支出それぞれ2,152万6,000円を減額、資本的収入を1,602万2,000円を減額するもの。	
第40号議案	建設工事委託変更契約の締結(令和元年・2年度 防災・安全交付金事業 東名高速道路を跨ぐ東名千福橋の撤去工事) 高速道路上の工事で、安全に行うための安全費や規制費と時間の制約による大型クレーン等の機械費の増額のため、契約金額1億5,058万100円を増額し、変更後の契約金額を3億6,243万9,000円とするもの。	
第41号議案	条例改正) 裾野市水道使用条例の一部改正 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正に伴い関係する条文を整理するもの。	
第42号議案	令和元年度裾野市一般会計補正予算(第7回) 国の補正予算により深良小学校・富岡第一小学校の校舎大規模改修事業の促進と雪氷対策によるもので、8,000万円を増額し予算総額を219億1,900万円とするもの。	
議員提出議案 第2号	令和2年度閉会中において各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会、議会改革特別委員会は、所管事務について調査を実施する。	

賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号、欠は欠席を表しています。

※議長（土屋秀明）は同数以外、採決には加わりません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。

議席番号 議員名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	結果	
議案内容	土屋主久	増田祐二	勝又豊	浅田基行	勝又利裕	村田悠	井出悟	岩井良枝	中村純也	小田圭介	杉山茂規	二ノ宮善明	賀茂博美	三富美代子	内藤法子	岡本和枝	小林俊	佐野利安	土屋秀明	
第3号議案	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛成：13 反対：5
第10号議案	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛成：13 反対：5
第20号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 賛成：15 反対：2 欠席：1

討論

第3号議案 令和2年度裾野市一般会計予算

▲ 行財政構造改革の名の下に、学校講師の削減と職員の研修費が削減された。学校現場では不登校児が過去最多を記録し、講師減による支援の低下が危惧される。また、市職員の人材育成経費の削減も納得できない。

反対です

賛成です

▲ 令和2年度は行財政構造改革の中間年であり1億600万円ほどの見直しを行ったことは評価できる。歳入の確保と既存事業の見直しによる新規事業も盛り込まれている。裾野市の持続的発展に向けた予算であると言える。

内藤法子議員

勝又利裕議員

▲ 大きく4点に反対する。推進の遅れにより増額させた新廃棄物施設構想委託費。事業採算の目処が立たない屋上緑化推進事業。リスクマネジメントを考えない駅西土地区画整理事業。施政方針を不履行にした副市長人事。

村田悠議員

▲ 給食センターでは、調理業務の人手不足が続き、人材確保が非常に困難な状況。子どもたちへ安全で安心した食の提供が非常に厳しい状況。また、非常勤講師の減は学校組織として限られた人員で取り組むと確認できている。

浅田基行議員

▲ 自治体は「住民の福祉の増進を図る」ことが仕事。駅西土地区画整理事業では、これから10年間毎年10億円使う一方、教育・福祉部門の予算の減額は8,314万円。こころの教室相談員も廃止。学校に必要なのは人と予算。

岡本和枝議員

第10号議案 令和2年度裾野市下水道事業会計予算

▲ 下水道事業の一般会計からの繰入金6億は大きすぎる。これを削減すれば教育など大切な事業が余裕を持てる。上水道事業から下水道事業を支援することもできる。早急に見直すべきだ。その責任は議会にもある。

反対です

賛成です

▲ この度、令和11年までの公共下水道経営戦略が策定され、適正な使用料改定、国庫補助の活用、今後の一般会計繰入金の減少など、経営健全化に向けた取り組みが示された。さらなる経営の効率化に期待する。

小林俊議員

賀茂博美議員

▲ 市財政状況を考慮した場合、整備面積を県の計画変更を待たずして縮小するべき。また来年度予算案でも公共下水道計画区域内の市街化区域で実施区域に含まれない地域（千福が丘）についての方向性が示されていない。

村田悠議員

▲ 今年度開催された下水道事業審議会において、経営戦略が承認され、経営健全化に向けた努力が伺えること、及び老朽化した集中浄化槽との関連性を考慮した整備計画の次のステップに進むために賛成する。

二ノ宮善明議員

第20号議案 条例改正)裾野市国民健康保険税条例の一部改正

▲ 一部改正は均等割を2万6,000円に引き上げるものである。家族が多いほど、また子育て世代にも大きな負担となる。全国でも子どもに係る均等割額を減免する動きが出ている。均等割は値上げすべきでない。

反対です

賛成です

▲ 大きな改正は静岡県国民健康保険運営方針に示されている賦課方式と同等にするため資産割を廃止することで、住宅用の資産のみ所有する年金生活者や低所得者の負担が少なくなる。負担能力に応じた適切な改正であると考えられる。

岩井良枝議員

勝又豊議員

13人が一般質問で市政を問う

まちづくり



内藤法子議員

問 トヨタ自動車（株）ウーブン・シティ実現への行政課題と着工に向けた進捗と市民への情報提供は。

答 規制緩和が課題。着工に向け、開発構想の進捗にあわせ都市計画用途地域の変更など、手続を実施していく。市民への情報提供は事業者側の理解の得られる内容で発信していく。

土屋主久議員

問 高村市長が示す規制緩和の方向性は、ウーブン・シティ関連の計画以外にも適用するという解釈で良いか。

答 区域外の地域の課題解決、新しいまちづくりを進めるには、現在規制されている部分の規制緩和が必要と考えている。

ウーブン・シティ



トヨタ自動車(株)が発表した「Woven City」の完成予想図

問 岩波駅の利便性向上に向け、ウーブン・シティ完成までに、JR 御殿場線の新幹線三島駅への直接乗り入れ本数増加をJR 東海に働きかけるべきと考えるが。

答 要望しているが、将来のまちの動向を想定しながら、要望を継続したいと考えている。

問 世界に注目されるまちづくりが裾野市で展開されるのを機に、裾野市もSDGs（※7）の推進を宣言すべきと考えるが。

答 推進宣言に拘らず、次世代型近未来都市構想で考え方を明確にしたいと考えている。

井出悟議員

問 新東名高速道路のスマートインター設置を平成30年12月定例会で質問したが、①トンネルや高架によりスマートインターをつくるための直線道路が得られない、②近くの県道や国道までの間の適正な規格の道路接道が取れないため設置はできない、との事業

者回答から、市はこれ以上の研究検討を行わない、という趣旨の答弁を高村市長がされていることは認識している。一方で、市内企業が表明した次世代技術を実証する未来都市構想は、あらゆる分野の産業が集積する次世代技術実証の聖地になると言われており、世界中から次世代技術に関連する企業の立地が実現する可能性を秘めている。新東名との接続性の向上は、世界中から次世代技術に関連する企業を立地するためにも必要不可欠である。設置可能性を再調査したらどうか。

答 設置ができないという認識は変わっていない。現時点で再調査は考えていない。

小林俊議員

問 県道仙石原新田線と県道裾野インター線を結ぶ道路計画はなぜ止まってしまったのか。この時期に行政と市民が一致団結して事業化に取り組むべきでは。

答 県の協力を得てJR・国・公安委員会と協議し概略設計まで実施したが、地元住民の同意が得られなかった。この事業は当市のみならず静岡県、神奈川県にも大きなメリットがある。今からしっかりと動き出すべきだと考えている。

岩井良枝議員

問 都市公園で地域との管理協定が結ばれ、市民協働での公園づくりが進められているが、都市公園以外の地区にある公園に対しても考えているか、またその動きがあるか。

答 維持管理協定は、19都市公園のうち8公園で維持管理協定を締結している。都市公園以外の地域の公園も現在3公園で締結している。これらを推進する方向で検討をしている。

伊豆島田公園



維持管理協定を締結している公園です。

（※7）SDGsとは…接続可能な社会を世界レベルで実現するために、2015年9月に国連で合意された世界共通の目標。「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されている。

小林俊議員

問 深良地区、県道沼津小山線（旧R246）と千福町田線の交差点（深良交番北）付近での、新駅設置や新市街地整備に今取り組むべきでは。

答 現在策定中の第5次総合計画、次世代型近未来都市構想等を示しながら、将来に向けた新たな裾野市をつくり上げることを目指して、企業を含めた市民、議会とともにスピード感を持って精力的に取り組んでいきたい。

深良交番北交差点



増田祐一議員

問 スーパーシティ特区法案はどのように深良新市街地構想に活かされるか。

答 成立前の法案ではあるが、市からの国への提案も視野に入れ、深良地区の開発も含めて課題解決を考えていく。

教 育



勝又豊議員

問 少子化は未婚化・晩婚化が影響。結婚・子育て願望に繋がる事業は。

答 健全な心身の成長を重点に、中学生の保育実習や子育て支援課が行っている中学3年生対象の「未来のパパママスクール」がある。

未来のパパママスクール



問 子育ての悩みや不安を軽減するための家庭教育支援員事業とは。

答 資格者5名が従事。図書館での子育て講座、絵本とおしゃべりの部屋や「つながるシート」を活用して親同士が学びを深める。また、家庭教育支援員による相談活動も始めた。

問 コミュニティ・スクール^(※8)は子どもや学校が抱える課題解決や子どもの豊かな心の成長に必要では。

答 令和4年度に導入する計画である。推進委員会を立ち上げ、令和3年度にモデル校を指定し実践、他の学校でも準備を進める。

問 GIGAスクール構想の実現として、校内ネットワーク整備、一人一台端末をいつ、どのように整備していくのか。

答 国の補助金を活用し、ネットワークは令和2年度に、端末は令和3～5年度に整備していく。

問 給食センター調理業務の民間委託はいつ頃に開始予定か。また、借地契約と今後については。

答 令和2年2学期から開始を予定している。借地契約は令和4年9月30日までとなり契約延長する予定。今後は全ての小中学校の給食を調理できる規模で検討していく。

問 学校給食は単なる栄養補給のための食事という意味にとどまらず、学校教育の一環であり、教育的要素が強くなり食育指導の充実が求められている。学校給食は民間委託すべきではないと考えるが、2学期から給食センター調理業務を民間委託する理由は。

答 給食員の欠員や正規職員が退職となり、給食員が臨時職員のみになってしまう状況を踏まえ、安定した給食の提供には民間委託が必要であることが市長・教育委員で共通認識されたため。

問 放課後児童室（8校・16児童室）の運営を委託した事業者の営業所は静岡市にある。各児童室で働く支援員は事業者の統括支援担当（東部エリア）への連絡、相談対応などスムーズにできているか。

(※8) コミュニティ・スクールとは…学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。

13人が一般質問で市政を問う

答 昨年度からの状況では、問題なく受託者の中でやって頂いたという認識でいる。

組織・体制



中村純也議員
問 労働災害発生時の情報共有や対策スピードなどが民間企業の体制と乖離している。市民を守る立場として、ルール化し、しっかり体制を整えるべきではないか。

答 今後は労働災害発生時対応のフロー図を明文化し、実施すべき行動や対応の期限などを明確にし、各職場への周知を図っていきたい。

問 過去の不祥事を受け、コンプライアンス推進計画を作り取り組んでいるが、活動は限定的である。情報セキュリティ強化や労災対応など取り組みを拡大し、社会的責任を明文化し、市民や当市に注目する企業の信頼を更に高めるべく戦略的発信をすべきではないか。

答 守秘義務は当然ながら、行政組織としてのレベルアップを図り、情報発信の仕方なども検討してく。真のパートナーとして選ばれるよう努めていく。

浅田基行議員
問 トヨタ自動車(株)が世界に向けコネクティッド・シティ(ウーブン・シティ)を発表した。市はどのような体制で対応していくのか。

答 副市長をリーダーとした部局長全員で構成する「みらい都市推進プロジェクトチーム」と企画政策課と情報政策室を統合した「みらい政策課」で対応し、第5次総合計画や次世代型近未来都市構想の実現に向けていく。



市役所3Fみらい都市推進プロジェクト担当事務局です。

村田悠議員

問 一般廃棄物の収集運搬(ごみ収集)随意契約に関し透明性のある契約方法の導入を長年一般質問で提唱し、現在の契約に異議を唱えてきたが、変更する考えは。

答 今後、総合評価方式による業者選定を検討していきたい。

問 江藤理事の1年間の業務実績は。

答 出勤日数206日。庁内会議などで463回、接客47回、行事・イベント69回、合計579回。分かりやすい実績としては以上である。

増田祐一議員

問 ファシリティマネジメントの今後の体制はどのように。

答 現在の推進体制で進める。強いマネジメント力で推進していく。

安心・安全・防災



二ノ宮善明議員

問 認知症家族への安全網として、認知症患者が起こした事故の損害賠償を自治体がカバーする保険を掛けることについて、裾野市の見解は。

答 市が抱える様々な課題と高齢者の現状を認識したうえで、取り組むべきか否か今後研究していく。

内藤法子議員

問 消費生活センターは平成30年度に528件、1億2,400万円相当の苦情相談を受けている。相談員の育成は。学校での消費者教育は。

答 相談員の育成は検討している。小中学校でスマホ教室、悪質商法などの学習指導をしている。

産業



村田悠議員

問 トヨタ自動車(株)のコネクティッド・シティプロジェクト(ウーブン・シティ)に関わる出張客、施工業者などの交流人口は、今後地域経済に大きな影響をもたらすと考えるが把握しているか。

答 情報がないため、把握できていない。

増田祐二議員

問 キヌアやそばなどで現在の耕作放棄地をなくす意思を示しながら、農業振興地域整備計画では未来志向の大規模集団化の農業が謳われているが、市の農業政策の方向性は。

答 地域戦略作物を研究する。また農業政策は大規模化を推進していく。

スーパーフード「キヌア」



母なる穀物と呼ばれるキヌア。研究を続けています。

くらし



賀茂博美議員

問 時代にあった墓地・供養の形態の検討について、市営墓地のあり方をどのように考えているか。

答 墓じまいや納骨への考え方、お墓の管理方法など、多様化する需要に応える墓地、埋葬方法について、今後検討していく。

財政



賀茂博美議員

問 基金の運用状況は。また、限られた財源を有効に活用するため、基金の一括運用、長期運用を行うことへの見解は。

答 財政調整基金は3本に分け、その他基金は4本にまとめて大口定期預金で運用している。全体収益は566万円。運用はリスクと効果のバランスを見極めながら取り組んでいく。

その他

内藤法子議員

問 LGBT^(※9) について市職員の理解促進と教育現場での生徒への対応は。

答 職員研修は行っていないが、理解促進を図っている。学校では授業でLGBTを取上げている。

二ノ宮善明議員

問 当市でのラグビー・ウィメンズセブンズシリーズ大会は2016年から開催されている。次年度、この大会を一時的に裾野市が取りやめた理由は。

答 オリンピックの聖火リレーと日程が重なり、大会開催が不可能と判断した。

問 新型コロナウイルス感染予防対策などで、オリンピックの開催も危ぶまれている。ウィメンズセブンズ大会とオリンピックの開催日がずれた場合には再度開催地として立候補するか。

答 開催地としての立候補は考えていない。

ラグビー・ウィメンズセブンズシリーズ大会



裾野市で、2016年から4回開催されました。

岩井良枝議員

問 令和元年度市民意識調査の結果、「やや不満」「不満」の合計が36%となっている。前年と比べ「満足」が3.9ポイント減少、「不満」は6.4ポイント増加をどうとらえているか。

答 市を取り巻く社会情勢にも左右されると考える。今回は、行財政構造改革の取り組みも影響していると認識している。結果は真摯に受け止め、現在取り組んでいる施策の進捗を図りたい。

(※9) LGBTとは…Lesbian(女性同性愛者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)、Transgender(性別越境者)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつ。

行政視察報告

(議会運営委員会、議会だより編集委員会)

議会運営委員会

令和2年1月29日(水) 栃木県宇都宮市
「議会ICT化について」

●タブレット端末導入

検討会でタブレット端末導入を決定し、各議員に配布。導入後の効果は、情報伝達の即時化、ペーパーレス化、情報入手の容易さなど、大きい。当市も導入が急がれる。

●議会中継・映像配信

市民の議会や行政に対する関心と理解を深め、開かれた議会を推進するために議会の中継とインターネット録画配信を行っている。著作権や映像の2次使用、聴覚障がい者などへの配慮の課題はあるが、当市でも早期導入に向けて検討していきたい。



令和2年1月30日(木) 栃木県那須塩原市
「議会基本条例の検証」

議会基本条例制定後、改正等の必要性和評価など、その時の議会に適切であるかとの認識から取り組んだとのこと。全ての条項についての検証を行い、自己評価、議運でのPDCAチェックと第三者による外部評価を行っている。「誰のために、何のために検証するのか」の市民目線での検討は見習うべき手法と考えられる。



議会だより編集委員会

令和2年1月21日(火) 埼玉県寄居町
「議会だより編集について」

議会だより「お元気ですか 寄居議会です」は第33回町村議会広報全国コンクール(応募総数279)において、最優秀賞(1位)を受賞しており、前年に引き続き2年連続となる。

“読まれない「議会だより」を発行する意味なし!”という編集方針のもと、

- 町民参加
- 町民の関心の優先度
- 読み手第一の言葉
- 伝えるための写真

などの意識で編集されている。



制作の基本的な流れは共通している部分もあるが、裾野市は議会だより編集委員会、寄居町は広報広聴特別委員会という違いがある。そのため、議員が取材



材に赴き、住民の方に親しまれる紙面作りを心がけていた。現在議会改革特別委員会で、広報と広聴のあり方を検討しており、編集委員からは、「見直す」「見習う」という意見が多く集まった。

行政視察後、協議し、

本号(第139号)では、
市民の皆様へ取材に伺い、紙面にご登場
いただくこととしました。

P19に掲載



渡邊千穂さん (岩波)

- ①自動運転がもっと発達して、お年寄りや子どもが事故に遭わないように！
- ②ロードレースに限らず運動公園の野球場にプロ野球がくるような、スポーツ全体の盛り上がりを目指しています。



稲毛正弘さん (佐野)

- ①多くの企業の参画で、最先端技術の実証実験として、「国家戦略特区」が裾野の地に広がること。
- ②パノラマロードから水ヶ塚公園までのサイクリングロード整備と準高地トレーニングの環境づくり。



土屋浩三さん (御宿)

- ①居住する人々との交流や経済効果、実験検証の成果を裾野市のまちづくりに活かしていくこと。
- ②サイクリングスポーツの大会や体験の環境づくり、普及のためのワクワクする継続的で斬新な活動。



- ①裾野市全体に構想を広げて、富士山のロケーションにマッチした、世界に誇れる裾野市の実現を目指してほしい。
- ②ペダルを踏むごとに富士山が近づいてくる選手にとっても忘れられないレガシー。この機会に自転車も安全な道路整備に注力を。



渡邊悟さん (須山)

- ①大勢の方々が裾野を訪れると思うので、上手くPRして市が活気づき、仕事に反映されればと思います。
- ②ヒルクライムのメッカになり、毎年、大会が開催されること。地元が興味をもつ環境づくりも！

令和2年度からの出来事に…

私達は期待します

議会として、その成功に向けて決議をした、ウーブン・シティ構想と東京2020オリンピックパラリンピック。市民の皆様が何に期待をしているのかを取材しました。

- ①トヨタ自動車㈱の発表したウーブン・シティ構想に何を期待しますか。
- ②オリンピック後の遺産 (レガシー) にどのようなモノやコトを期待しますか。



荻田佳苗さん (須山)

- ①裾野の豊かな自然とトヨタの取り組みが共存して、老若男女の新しい形や未来が想像できること。
- ②自転車競技を身近に感じるような催しで、今後の裾野市の活性化を。



河野広美さん 河野好伸さん (公文名)

- ①富士山と裾野市を世界に発信し、駅前の活性化やトヨタ公園など、人が集うまちづくりに期待。
- ②安全で子どもたちも走れるサイクリングロードを整備して、家族で楽しめるものにしてほしい。



杉本珠己さん (佐野)

- ①全国の人が裾野市に住みたくなるような魅力あるまちづくりに期待します。
- ②世界中の自転車乗りが集まる魅力あるイベントの継続を期待します。



藤元洋平さん (深良)

- ①閉店などが気になる中、これを機会に店舗が増え全体の活性化を期待！
- ②継続するロードレースの大会が開催されて、市全体の知名度向上！



山之内和子さん (佐野)

- ①実証実験の新技術を市へ還元して頂き、積極的なPRを期待します。
- ②市内道路にもっと自転車通行できる道路を作ることを期待します。

裾野高校「主権者教育」に アドバイザーとして参加

令和2年1月24日、裾野高校が主権者教育の授業として、高校生による「模擬陳情の作成」を実施。高校生の課題を市議会も共有し、課題を解決する手段や方法を研究し、高校生による模擬陳情を提出し、深い学びの時間となった。



陳情の多くは市役所東▲▶
交差点の歩行者への安全確保

◀▼授業の様子



新型コロナウイルスの感染症対策へのご協力をお願いします



感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット



正しいマスクの着用



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan
厚生労働省

■ 詳しい情報はこちら

厚労省 検索

電車や職場、学校などが集まるところでもやろう

手洗いや咳エチケットの徹底により、感染症対策を万全にして、拡大を防ぎましょう。

市の新型コロナウイルス感染症に関する情報はホームページに随時更新されます。気になることは、こちらにてご確認ください。



出典：首相官邸ホームページ

編集委員

- 委員長…………… 土屋 主久
- 副委員長…………… 増田 祐二
- 委員…………… 二ノ宮善明
勝又 利裕
勝又 豊
浅田 基行

議会をチェック!!

裾野市議会 検索



令和2年6月定例会(予定)

6月8日	月	本会議	10:00～				
6月10日	水	本会議	10:00～	6月12日	金	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～
		予算決算委員会	本会議終了後				
6月10日	水	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	予算決算 委員会終了後	6月15日	月	本会議 (一般質問)	10:00～
		予算決算委員会 (産業建設分科会) 産業建設委員会	9:00～	6月17日	水	予算決算委員会	10:00～
6月11日	木			6月18日	木	本会議	10:00～

※予定は変更する可能性があります。

議会だよりすそのでは、年齢や障がいの有無に関係なく、できるだけ多くの人が「見やすく、読みやすい」よう細かい部分に配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059
Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●議会だより編集委員会 ☎055-995-1839 (直通)
印刷●ナポール株式会社